

■ 要緊急安全確認大規模建築物における耐震診断の結果の公表一覧表

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鈴鹿市立国府小学校南校舎棟(東・西)	鈴鹿市国府町字内一敷2376番ほか30筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.33$ $C_T \cdot S_D=0.33$	—	—	
2	鈴鹿市立牧田小学校⑥-1~4棟	鈴鹿市岡田一丁目700番ほか39筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.23$ $C_T \cdot S_D=0.33$	—	—	
3	鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校①棟	鈴鹿市寺家一丁目2038番106ほか1筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.21$ $C_T \cdot S_D=0.75$	—	—	
4	鈴鹿市立稻生小学校普通教室東・西校舎棟	鈴鹿市稻生三丁目4364番1ほか29筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.28$ $C_T \cdot S_D=0.32$	—	—	
5	鈴鹿市立飯野小学校南東校舎棟・南西校舎棟	鈴鹿市三日市南二丁目1856番外17筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.25$ $C_T \cdot S_D=0.40$	—	—	
6	鈴鹿市立河曲小学校校舎棟(中央・東)	鈴鹿市十宮町字西川原719番2ほか45筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.53$ $C_T \cdot S_D=0.38$	—	—	
7	鈴鹿市立長太小学校校舎棟東・中央・西	鈴鹿市長太旭町五丁目330番1ほか44筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.38$ $C_T \cdot S_D=0.34$	—	—	
8	鈴鹿市立玉垣小学校普通・特別教室棟	鈴鹿市北玉垣町字辻900番ほか61筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO}=1.25$ $C_T \cdot S_D=0.35$	—	—	

■ 要緊急安全確認大規模建築物における耐震診断の結果の公表

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
9	鈴鹿市立若松小学校 ⑪-1~3棟	鈴鹿市若松中一丁目 1152番1 ほか31筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.42$ $C_T \cdot S_D=0.31$	—	—	
10	鈴鹿市立白子小学校 校舎棟 (北・中央・南)	鈴鹿市白子一丁目 5474番4 ほか22筆	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.18$ $C_T \cdot S_D=0.32$	—	—	
11	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 ①-1棟	鈴鹿市寺家四丁目 2444番30 ほか43筆	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_T \cdot S_D=0.45$	—	—	

【体育館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鈴鹿市立体育館 (正体育館)	鈴鹿市江島台一丁目 674番1	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.45$ $C_T \cdot S_D=0.31$	—	—	

【集会場、公会堂】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鈴鹿市民会館	鈴鹿市神戸一丁目 690番	公会堂	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_T \cdot S_D=0.80$	—	—	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性(※)		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては
 損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。